

ごみ収集車両運行管理システム運用業務 評価基準表

①客観的評価

評価項目	評価点	判断基準	得点化の基準
業務の実績（同種業務） 【様式4】	40	平成28年度以降（過去10年間）に受注し、かつ履行した同種業務の実績数（最大4件）	・業務実績 1件につき 10点 （最大4件）
機能要件適合調査表 【様式5】	140	適合調査表の全27項目の評価点	適合状況に応じた配点
小計	180		

②企画提案書評価

評価項目	評価点	判断基準	判断基準
理解度	5	業務内容や背景、課題などを理解している。	評価者評価点 = (評価者評価点：持ち点110点 × 6人) ※評価者に欠員が生じた場合は、欠員×110点を配点上限から減算する。
保守・セキュリティ対応に関する提案	5	受注者及びシステムのセキュリティは十分か。 ※受注者のセキュリティポリシーの策定及び実際のセキュリティ体制はどうしているのか。 システムの定期的なメンテナンスやシステムの保守、バックアップ体制はできているか。 管理用パソコン、タブレットへの不正アクセス防止対策やウイルス対策は充分か。	
	5	障害につながる事象や障害を検知した時、システム停止時等に迅速に対応でき、適切な再発防止策を講ずることができるか。 ※稼働率やレスポンスタイムの性能要件、発生から復旧までの時間、リカバリポイントなどの可用性目標など ※祝日や年末（～12月31日）を含んだ月曜日から金曜日までの午前8時から午後4時までの間に行うごみ収集の際は、システムが停止した場合の復旧体制があるか。	
研修に関する提案	10	システム導入時及び導入以後の、研修方法、内容及びスケジュールが効果的に提案されているか。 ※職員がシステムを把握するのに十分な時間、回数、内容か。 また、ごみ収集車両の乗員とシステム管理者と別のメニューが組まれているか。	
機能性	10	表示画面は適切で、確認しやすいか。 ※タブレット上の地図の表示がスムーズで、自車及び他車の位置、ルート、収集状況が見やすいか。 管理用パソコンで、収集状況を把握するための操作は容易か。また、車両ごとの収集の未了・終了などを視認しやすいか。	
	5	現在使用している計量システム（中外テクノス製）に接続し、ごみ収集車両別に、収集重量、計量時間等のデータを取りだし、システム側データに反映できるか。	
	10	管理用パソコンやタブレットで、複数のルートを容易に切り替えできるか。 ※燃せるごみの収集日は週2回あり、市の直営担当地区を月・木曜日、火・金曜日と2回ずつに別けている。水曜日は担当地区すべてのトレー・プラ類を一日で収集している。	
	5	タブレット及び管理用パソコンの連絡機能が、わかりやすい操作性・表示となっているか。	
使用性	10	ごみ集積場所の位置の登録、廃止、ルートの登録などの操作が容易に行えるか。	
	10	複数の職員が同時に、ごみ収集車両の収集状況を確認できるようなシステムは対応しているか。 ※年末年始や繁忙期には、事務所から全体の収集状況を把握する必要がある。 また、市民からの複数の電話問い合わせに対し、並行して確認し回答する必要がある。	
市民への公開方法	10	具体的かつ実現可能な手法であり、市民へのサービス向上が期待できるか。	
業務効率化に関する提案	10	ルートの再構築とごみ収集車両の削減に向けて、どのような手法で行うのか。 ※具体的作業内容、受注者の作業と発注者の作業、再構築と削減に向けた受注者と発注者との協議、スケジュールなど	
追加提案	10	当市が求める仕様書以外で提案者の特性を生かした提案等があるか。 ※交通事故防止、拡張性、開発が見込めている新機能など	
表現力・取組意欲	5	要領を得た分かりやすい説明であり、質疑への応答は的確である。本業務への取組意欲が感じられる。	
小計	110		

③価格点

評価項目	評価点	判断基準	判断基準
価格評価	50	提案価格書に記載の見積額を対象として、右に示す方法に基づき価格点を付与する。なお、見積額が上限額を超過している参加事業者は失格とする。	・総額が提案上限額から提案上限額の90%の範囲であれば40点、提案上限額90%から提案上限額80%であれば45点、提案上限額80%以下であれば50点とする。
小計	50		

①客観的評価	180
②企画提案書評価 (110点×6人)	660
③価格点	50
合計	890

	見積額	評価点
提案上限額×80%以下	0 ～ 18,412,000	50
提案上限額×80%～提案上限額90%	18,412,000 ～ 20,713,000	45
提案上限額×90%～提案上限額	20,713,000 ～ 23,015,000	40